

## 助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	情報バリアフリー通信・放送役務提供・開発推進助成金
助成対象事業名	ローカル TV 局向けライブ字幕サービス
助成対象事業者名	株式会社アイセック・ジャパン
助成金の額	10,454千円

### 【助成対象事業の全般について】

①	助成対象事業の概要	聴覚障害者向けのライブ字幕サービスとしてローカル TV 局向けライブ字幕サービスの提供 前年度の助成でサブチャンネルを使ったローカルニュースのライブ字幕サービスを拡大する
②	助成対象事業の目標	著各障害者向けのライブ字幕提供を実施してきており、講演会・セミナー、高等教育、議会には少しずつ浸透してきているが、ローカル TV 局のニュースなどには、まだ、ライブ字幕が付いておらず、その実現をサブチャンネルの活用で実現する

### 【令和4年度実施部分について】

③	助成対象事業の実施内容	<p>① ローカル TV 局のライブ番組ニュース等へ、サブチャンネルを活用して、聴覚障がい者向けの字幕を提供するという目標に関しては、テレビ愛媛、千葉テレビ、山口放送、琉球朝日放送、熊本民放テレビにデモ及び説明会をオンラインにて実施。</p> <p>そのうちの千葉テレビでは、10/17～10/21 までの 5 日間、夜のニュースにおいて、サブチャンネルを活用したライブ字幕を配信した。</p> <p>また、前年度に続き、テレビ長崎が SDGs の取り組みの一環として、2/27～3/3 までの 5 日間夕方のローカルニュースの時間帯において、サブチャンネルを利用した聴覚障害者向けのライブ字幕放送を実施した。</p> <p>② 普通高校・大学に通う聴覚障がい生徒に対する支援では、都立大泉高校に通う聴覚障がい生徒 1 名への情報保障として、毎日ライブ字幕提供を行うことができた。(98 コマ)。筑波技術大学(35 コマ)および沖縄大学(93 コマ)、武庫川女子大学(36 コマ)、日本福祉大</p>
---	-------------	--

		<p>学(6コマ)に加え、日本社会事業大学(43コマ)、長崎大学(4コマ)での情報保障を実施した。沖縄大学ではハイブリッド字幕の提供を行った。ハイブリッド字幕については、既存の手入力より50%の省人化がはかれている。</p> <p>③ 講演会・セミナーの情報保障およびラジオ放送の字幕提供を実施した。講演会・セミナー 141回・273.5時間、ラジオ放送 25回 海外案件(海外でのセミナー等で日本語字幕を提供する)が増えてきており、17回・43時間実施した。</p> <p>④ 市町村・都道府県議会の字幕提供では、前年度から継続している佐賀県武雄市議会(40時間)・福井県議会(24.5時間)、千代田区議会(54時間)、東京港区議会(35時間)で聴覚障害者向けライブ字幕を実施した。12月からは、京都府議会でのライブ字幕提供が決まり、12月議会と2月議会で44時間のライブ字幕を提供した。</p>
④	助成対象事業の成果	<p>&lt;総評&gt; 講演会・セミナー、いくつかの議会、大学において定常的にライブ字幕が使用されるようになり、この分野におけるビジネスはほぼ自立化できるようになってきたと感じる。また、海外からの日本語ライブ字幕の要請が増えてきており、ビジネスポテンシャルがかなりあると思われる。海外からの案件では、音声認識では十分でないため、人手によるライブ字幕を求めているようである。 今年、ローカルテレビ局のニュースなどのライブ字幕について、サブチャンネルを活用したライブ字幕を広げようとチャレンジした。新たに千葉テレビが実証実験に加わり、テレビ長崎では昨年度に続き2回目の実証実験に取り組んでいただけた。ただ、両方ともSDGsへの取り組みとして実施いただいております、定常的に提供するには至っていない。大きな問題はコストと思われ、国の取り組みとしての支援策が望まれる。</p>
⑤	補足説明事項	